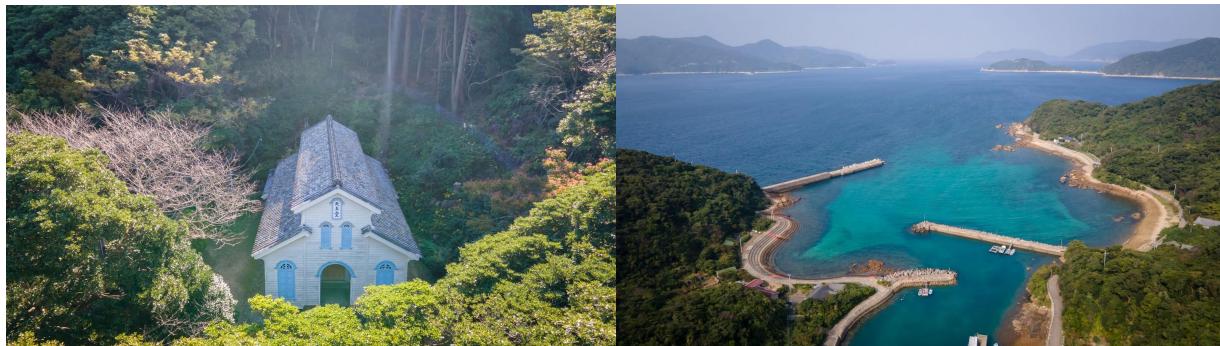


## 五島列島・奈留島で「ヴァナキュラー・ツーリズム」始動 世界遺産の島で「祈りと暮らし」を継承する新たな観光モデルを構築

五島観光魅力向上推進協議会（所在地：長崎県五島市）は、世界文化遺産登録後の五島列島において、地域固有の文化や信仰を尊重し、持続可能な観光を目指す「ヴァナキュラー・ツーリズム」の取り組みを本格始動します。この事業では、土着の歴史や伝統・文化・芸術・自然など地域に当たり前にあるものの価値を参加者と共有していくようなツアーアクティビティを提供します。

第一弾として、隠れキリスト教の歴史が色濃く残る奈留島（なるしま）にて、対話型・課題解決型のツアーアクティビティを開発に着手しました。

世界文化遺産登録により注目を集め一方、教会巡りを中心とした既存観光が地域経済や暮らしに十分な恩恵をもたらしていないという課題を背景に、島の生活文化や信仰の歴史、隠れキリスト教の末裔が語り継ぐナラティブ（物語など）に焦点を当て、地域に滞在して地域経済への還元と持続可能性を両立する体験型の観光を提案します。



(左) 江上天主堂　写真：宮脇慎太郎、(右) 五島の風景　写真：宮脇慎太郎

五島列島は、潜伏キリスト教関連遺産として世界文化遺産に登録され、国内外から多くの観光客が訪れています。しかし現状では、船で教会建築を巡る短時間回遊型ツアーが中心となり、島内での消費や交流が限定的であるという指摘が地域住民からも上がっています。また、対応できる人数と反比例して体験価値が薄くなってしまうという課題もあります。これらに対する私たちなりの方法が、参加体験型のツアーアクティビティです。

「観光」とは「光を観る」と書きますが、当協議会では、光の当たらない影の部分—生活、祈り、葛藤、継承—にも丁寧に目を向けることが、これから観光に不可欠であると考えています。

### ヴァナキュラー・ツーリズムとは

私たちが唱える「ヴァナキュラー・ツーリズム」とは、その土地固有の暮らし、文化、精神性を尊重し、地域の語り手と来訪者が対話を通じて価値を共有する観光のあり方を指します。モノや名所の消費ではなく、体験や物語を通じて地域を理解することで、観光と生活のあいだに持続可能な関係を築くことを目指しています。

## 五島観光魅力向上推進協議会は何を行うのか

昨年（2025年）はリサーチを重ね、奈留島の隠れキリストン末裔の方々との対話から、奈留島にまつわるツアーコンテンツの発掘と開発に着手しました。また、有識者を五島に招き多様な事例や意見にも耳を傾けてきました。

奈留島リサーチの中で、隠れキリストンの儀式を継続していた方の儀式の道具に出合い、長崎県世界遺産課の学芸員、平戸市生月町（いきつきちょう）博物館『島の館』館長と共に調査に入りました。

2026年秋より、少人数のツアーへのコーディネートやアドバイスなどを中心にした寄り添い型のツアーを順次展開していきます。また、このツアーを通じて、ボランティアに支えられている地域の祭や教会活動などに支援ができるようなかたちを考えています。

例) 地域の祭りの担い手不足に手を差し伸べる、地元の祭りへ参加型ツアー

例) 前島と末津島の間に干潮時に現れる「トンボロ：陸繫砂州（りくけいさす）」には、海洋ゴミが流れています。これらを片付けながら、珍しい景色を楽しむツアー

このように、地域の文化や事象を丁寧に掘り起こし、手を動かしながら奈留島の新たなあり方を考えていきたいと考えています。五島観光魅力向上推進協議会では、地域の人による、地域課題に寄り添った丁寧な観光を実現していきます。



(左) 奈留神社例大祭　写真：岡内大三、(右) トンボロ（陸繫砂州〈りくけいさす〉）と海洋ゴミ　写真：宮脇慎太郎

## この取り組みが目指す姿

まず奈留島（長崎県五島市）のリサーチや少人数のツアーを重ね、文化と観光のよりよい環境を奈留島に作っていきます。それは、祖父母の家を訪ねた時に感じるような懐かしさと、活動の先に単なる便利さや手軽さとは違うもうひとつの未来を考えるようなものです。私たちはこれを「懐かしい未来」と呼びます。まずは「懐かしい未来」を体験できる場所として奈留島に携わる人々を増やしていく、いずれは島に活気を取り戻して行きたいと考えています。

## 活動内容

- ❖ 奈留島の潜伏キリシタンに関するツアー開発
- ❖ 個人旅行や研究者・大学研究室等による奈留島調査旅行のアレンジやコーディネート
  - ◇ 数名のツアーへのアドバイスなど寄り添い型の旅のアレンジを行う
    - 例) 大学の研究旅行についてのアレンジや関係者の紹介
    - 例) ボランティアに支えられている教会活動などを支援できるツアー
- ❖ 公式WEBサイトの運営 <https://gotovernacular.com/>



## 〈本年度実施した事業〉

### 奈留島モニターツアー

参加有識者：藤原恵洋（ふじはら・けいよう：九州大学 名誉教授）、藤浩志（秋田公立美術大学 教授）、石倉敏明（いしくら・としあき：秋田公立美術大学 准教授）、ナサニエル・マイケル・スミス（立命館大学 准教授）、他 ※ 有識者は、今後WEBサイトでコラム執筆予定

### シンポジウム

登壇者：原久子（大阪電気通信大学 教授）、椎原晶子（NPO法人たいとう歴史都市研究会理事長）、江尻浩二郎（地域文化活動家）

モデレーター：大澤寅雄（合同会社文化コモンズ研究所代表・主任研究員）、片岡優子（五島観光魅力向上推進協議会 代表）

※ シンポジウムの様子はこちらで見ることができます。

[https://www.youtube.com/@goto\\_vernacular](https://www.youtube.com/@goto_vernacular)

### 【関連リンク等】

五島観光魅力向上推進協議会 公式WEBサイト <https://gotovernacular.com>

五島観光魅力向上推進協議会 公式SNS

- Facebook : <https://www.facebook.com/GotoTourismPromotionCouncil>
- X(Twitter) : [https://x.com/goto\\_vernacular](https://x.com/goto_vernacular)
- YouTube : [https://www.youtube.com/@goto\\_vernacular](https://www.youtube.com/@goto_vernacular)

### 【取材・問い合わせ先】

五島観光魅力向上推進協議会 担当：片岡

〒853-0015 長崎県五島市東浜町1-10-1 TEL : 0959-88-9444 Email : tayutau510@gmail.com